

ICO簿記個別論点の特訓コース第1回

個別論点 総合問題1 補助レジュメ

（ICOフィードバック解説）（単位：千円）

1. 現金預金

(1) 現金過不足

(借) 現金 過 不 足 営 業 費 雑 損 失	(貸) 現金 預 金 現金 過 不 足
--------------------------------	------------------------

(2) 当座預金

① 未渡小切手

(借) 現金 預 金	(貸) 未 払 金
------------	-----------

② 未取立小切手

--	--

③ 未取付小切手

--	--

④ 振込入金未記帳

(借) 現金 預 金	(貸) 長 期 貸 付 金
------------	---------------

⑤ 当座借越

(借) 現金 預 金	(貸) 短 期 借 入 金 (注)
------------	-------------------

(注)

銀行勘定調整表

(単位：千円)

当社残高 ①未渡小切手 ④振込入金未記帳 _____ _____	銀行残高 ②未取立小切手 ③未取付小切手 _____ _____
↑	↑
<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px 10px;">必ず一致する</div>	

2. 債権

(1) 一般債権

(借) 貸倒引当金繰入額 (注)	(貸) 貸倒引当金
------------------	-----------

(注)

(2) 貸倒懸念債権

① 甲社に対する長期貸付金

(借) 貸倒引当金(注2)	(貸) 長期貸付金(注1)
貸倒損失(営業外費用)(注3)	

(注1)

(注2)

(注3)

② 乙社に対する長期貸付金

(借) 貸倒引当金繰入額(注)	(貸) 貸倒引当金
(営業外費用)	

(注) i) 繰入額

ii) 戻入額

iii) i)繰入額 - ii)戻入額 =10,889 iv) 割引現在価値算定表

	X28.3.31	X29.3.31	X30.3.31	X31.3.31	合計
契約上の将来キャッシュ・フロー					
約定利率4%に基づく現在価値割引率		() ²	() ³	() ⁴	—
条件緩和後キャッシュ・フロー					
X27年3月31日					
X28年3月31日					
X29年3月31日	—	—			
X30年3月31日	—	—	—		

(3) 破産更生債権等

(借) 仮受金(注1)	(貸) 破産更生債権等
貸倒引当金(注2)	

(注1)

(注2)

3. 有価証券

(1) A株式(期末評価)

(借) 有価証券	(貸) 有価証券運用益(注)
----------	----------------

(注)

(2) B社債

① 償却原価算定表

(単位：千円)

年月日	A. クーポン受取額 (× %)	B. 利息配分額 (前D. × %)	C. 金利調整差額 償却額(B. - A.)	D. 償却原価 (前D. + C.)
X24.4.1	—	—	—	
X25.3.31				
X26.3.31				
X27.3.31				
X28.3.31				
X29.3.31				
X30.3.31				
合計				—

② 組替仕訳

(借) 投資有価証券(注)	(貸) 有価証券
---------------	----------

(注) ① X26.3.31D.

③ 金利調整差額の償却

(借) 投資有価証券(注)	(貸) 有価証券利息
---------------	------------

(注) ① X27.3.31C. 金利調整差額

(3) C株式(組替仕訳)

(借) 関係会社株式	(貸) 有価証券
------------	----------

(4) D株式

① 組替仕訳

(借) 投資有価証券(注)	(貸) 有価証券
---------------	----------

(注)

② 期末評価

(借) 投資有価証券(注1)	(貸) その他有価証券評価差額金(注2)
	繰延税金負債(注3)

(注1)

(注2)

(注3)

4. 商品

(借) 仕入	(貸) 繰越商品
繰越商品	仕入
棚卸減耗費(注)	繰越商品

(注)

5. 有形固定資産

(1) 建物…定額法

(借) 減 価 償 却 費 (注)	(貸) 建物減価償却累計額
-------------------	---------------

(注)

(2) 機械装置…旧定額法

(借) 減 価 償 却 費 (注)	(貸) 機械装置減価償却累計額
-------------------	-----------------

(注) ① 平均耐用年数

$$\text{-----} =$$

② 総合償却：

(3) 備品…200%定率法

(借) 備 品 (注1)	(貸) 営 業 費
減 価 償 却 費 (注2)	備品減価償却累計額

(注1)

(注2)

6. ソフトウェア

(借) ソフトウェア償却 (注)	(貸) ソフトウェア
------------------	------------

(注) 当期(X27年3月期)償却額

i) 当期首未償却残高 × $\frac{\text{X27年3月期の実績販売収益}}{\text{当期首の見込販売収益}}$

= 前T/B × ----- =

ii) $\frac{\text{当期首未償却残高}}{\text{残存有効期間 年}} =$

iii)

③

(2) 繰上償還

(借) 社	債 (注1)	(貸) 仮	払	金
社	債 償 還 損 (注2)			

(注1) ①

②

(注2)

(3) 未払利息の計上

(借) 社	債 利 息 (注)	(貸) 未	払 費 用
-------	-----------	-------	-------

(注)

9. 新株予約権付社債

(1) 償却原価法の適用

(借) 社	債 利 息 (注)	(貸) 社	債
-------	-----------	-------	---

(注)

(2) 権利行使

(借) 社	債 (注1)	(貸) 資	本 金 (注3)
新 株 予 約 権 (注2)		資 本 準 備 金 (注4)	

(注1)

(注2)

(注3)

(注4)

10. 法人税等

(借) 法人税・住民税及び事業税 (注)	(貸) 未 払 法 人 税 等
----------------------	-----------------

(注) ① 税引前当期純利益：

② ①税引前当期純利益

11. 純資産

(1) 資本金の減少

(借) 資	本 金	(貸) 資 本 準 備 金
		そ の 他 資 本 剰 余 金

(2) 自己株式の処分 (X26年10月1日)

(借) 仮	受 金	(貸) 自 己 株 式 (注1)
		そ の 他 資 本 剰 余 金 (注2)
		(自己株式処分差益)

(注1)

(注2)

(3) 自己株式の処分(X26年12月1日)

(借) 仮 受 金	(貸) 自 己 株 式 (注1) その他資本剰余金 (注2) (自己株式処分差益)
-----------	---

(注1)

(注2)

12. 決算整理後残高試算表

決算整理後残高試算表

X27年3月31日

(単位：千円)

現 金 預 金 売 掛 金 有 価 証 券 繰 越 商 品 建 物 機 械 装 置 備 品 ソ フ ト ウ ェ ア 投 資 有 価 証 券 関 係 会 社 株 式 長 期 貸 付 金 仕 入 棚 卸 減 耗 費 営 業 費 退 職 給 付 費 用 貸 倒 引 当 金 繰 入 額 (営 業 費 用) 減 価 償 却 費 ソ フ ト ウ ェ ア 償 却 社 債 利 息 貸 倒 損 失 (営 業 外 費 用) 貸 倒 引 当 金 繰 入 額 (営 業 外 費 用) 雑 損 失 社 債 償 還 損 法人税・住民税及び事業税	買 掛 金 短 期 借 入 金 未 払 金 未 払 費 用 未 払 法 人 税 等 社 債 退 職 給 付 引 当 金 繰 延 税 金 負 債 貸 倒 引 当 金 建 物 減 価 償 却 累 計 額 機 械 装 置 減 価 償 却 累 計 額 備 品 減 価 償 却 累 計 額 資 本 金 資 本 準 備 金 そ の 他 資 本 剰 余 金 利 益 準 備 金 繰 越 利 益 剰 余 金 そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金 新 株 予 約 権 売 上 受 取 利 息 有 価 証 券 利 息 有 価 証 券 運 用 益
---	---

13. 損益計算書

損 益 計 算 書

自 X26年4月1日 至 X27年3月31日

(単位：千円)

I 売 上 高	()
II 売 上 原 価		
1. 商 品 期 首 棚 卸 高	()
2. 当 期 商 品 仕 入 高	()
合 計	()
3. 商 品 期 末 棚 卸 高	()
4. 棚 卸 減 耗 費	()
売上総利益	()
III 販売費及び一般管理費		
营 業 費	()
退 職 給 付 費 用	()
貸 倒 引 当 金 繰 入 額	()
減 価 償 却 費	()
ソ フ ト ウ ェ ア 償 却	()
営業利益	()
IV 営業外収益		
受 取 利 息	()
有 価 証 券 利 息	()
有 価 証 券 運 用 益	()
V 営業外費用		
社 債 利 息	()
貸 倒 損 失	()
貸 倒 引 当 金 繰 入 額	()
雑 損 失	()
経常利益	()
VI 特別損失		
社 債 償 還 損	()
税引前当期純利益	()
法人税・住民税及び事業税	()
当期純利益	()

14. 貸借対照表

貸借対照表

X27年3月31日現在

(単位：千円)

(資 産 の 部)		(負 債 の 部)	
I 流 動 資 産		I 流 動 負 債	
現 金 預 金	()	買 掛 金	()
売 掛 金	()	短 期 借 入 金	()
貸 倒 引 当 金	()	未 払 金	()
有 価 証 券	()	未 払 費 用	()
繰 越 商 品	()	未 払 法 人 税 等	()
流動資産合計	()	流動負債合計	()
II 固 定 資 産		II 固 定 負 債	
建 物	()	社 債	()
減価償却累計額	()	退 職 給 付 引 当 金	()
機 械 装 置	()	繰 延 税 金 負 債	()
減価償却累計額	()	固定負債合計	()
備 品	()	負 債 合 計	()
減価償却累計額	()	(純 資 産 の 部)	
ソ フ ト ウ ェ ア	()	I 株 主 資 本	
投 資 有 価 証 券	()	1 資 本 金	()
関 係 会 社 株 式	()	2 資 本 剰 余 金	
長 期 貸 付 金	()	(1) 資 本 準 備 金	()
貸 倒 引 当 金	()	(2) そ の 他 資 本 剰 余 金	()
固定資産合計	()	資 本 剰 余 金 合 計	()
		3 利 益 剰 余 金	
		(1) 利 益 準 備 金	()
		(2) そ の 他 利 益 剰 余 金	
		繰 越 利 益 剰 余 金	()
		利 益 剰 余 金 合 計	()
		株 主 資 本 合 計	()
		II 評 価 ・ 換 算 差 額 等	
		そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	()
		評 価 ・ 換 算 差 額 等 合 計	()
		III 新 株 予 約 権	()
		純 資 産 合 計	()
資 産 合 計	()	負 債 純 資 産 合 計	()

16. X26年11月30日(剰余金の配当をする日、以下同様)における配当可能限度額

(1) X26年11月30日における剰余金の額

$$\begin{aligned} & \text{前期末B/S繰越利益剰余金} + \text{X26年6月20日その他資本剰余金(資本金減少額)} - \text{X26} \\ & \text{年6月30日繰越利益剰余金の配当及び利益準備金の積立} + 11. (2) \text{X26年10月1日その他資本} \\ & \text{剰余金(自己株式処分差益)} = \end{aligned}$$

(2) X26年11月30日における分配可能額

$$\begin{aligned} & (1) \text{X26年11月30日における剰余金の額} - \text{X26年11月30日現在における自己株式の帳簿価額} \\ & - 11. (2) \text{X26年10月1日自己株式処分対価} - \text{その他有価証券評価差額金} = \end{aligned}$$

(3) X26年11月30日における配当可能限度額

A. $\frac{1}{4}$ 基準*

$$\begin{aligned} * \text{ 準備金計上限度額} & (= \text{剰余金の配当をする日における基準資本金額(資本金額の } \frac{1}{4} \text{)}) \\ & - \text{剰余金の配当をする日における準備金の額) の準備金を積立てる場合における剰余金の配} \\ & \text{当額} \end{aligned}$$

a. 準備金計上限度額

① X26年11月30日における基準資本金額

$$\begin{aligned} & (\text{前期末B/S資本金} - \text{X26年6月20日資本金減少額}) \times \frac{1}{4} = \end{aligned}$$

② X26年11月30日における準備金の額

$$\begin{aligned} & \text{前期末B/S利益準備金} + \text{X26年6月20日資本準備金増加額} + \text{X26年6月30日利益} \\ & \text{準備金積立額} = \end{aligned}$$

③ X26年11月30日における準備金計上限度額 : ① - ② = 2,500 b. 剰余金の配当額

$$(1) \text{X26年11月30日における分配可能額} - \text{a. ③準備金計上限度額} =$$

B. $\frac{1}{10}$ 基準*

$$\begin{aligned} * \text{ 剰余金の配当をする日における剰余金の配当額の } \frac{1}{10} \text{ の準備金を計上する場合における} \\ \text{剰余金の配当額} \end{aligned}$$

a. 準備金計上額

$$(1) \text{X26年11月30日における分配可能額} \div 11 =$$

b. 剰余金の配当額

$$(1) \text{X26年11月30日における分配可能額} - \text{a. 準備金計上額} =$$

C. X26年11月30日における配当可能限度額

A. b. < B. b.

⇒ 大きい金額

CHECK 欄：	TIME LIMIT	実施日	
	60分		
	RANK		
	B:普通		得点
	合格水準		
	82点		

- 以上 -